

# 光栄の森

平成26年7月 毎月1日発行 第73号  
発行者 光栄プロテック 湯岑

## 7月に向けて

代表取締役 三田雅憲

今週に入り梅雨特有の天気と温度や湿度が高くすっきりしない日が続いております。体調管理をしっかりと行い、無事に乗り切りましょう。

6月は新しいお客様がら社ほど来社していただきました。また本当に久しぶりのお客様からの『硫化イブシ仕上げ』の問い合わせなどもあり、今期は営業が充実してきていると実感しております。

さて今月は、当社の若手社員の頑張りについてイニシャルではありますが少し書かせてもらいます。

当社営業部のNG君は、お客様の納期や納品時間に合わせるために、日々昼休みや休憩を割いて納品に納期対応に、今日は名古屋、明日は東大阪というスケジュールを立ててくれています。誠実な性格なので仕事をだしてくれるお客様が増えるのではないかと私は思います。一方、塗装技術知識や塗装見積り・工場に対する指示書作成など、これから勉強してもらうことも色々あるのですが、まずは今以上にお客様より信頼されいつも『NG君 NG君』といってもらえるような営業マンになってもらいたく思います。

そして第2工場ライン班のNJ君が、名古屋へエレベータ意匠の磨き研修を受けに4日間頑張り、一定の評価をいただいたこともうれしい事です。私から見ると少し対人折衝を苦手としているNJ君にとっては、慣れない土地での宿泊を伴う研修でしたので大変であったと思いますが、愚痴や泣き言も言わず黙々と頑張った様子を聞いてうれしく思いました。教えてもらった技術を熟練させて会社のみんなにも伝えてほしいと思います。私の希望としては『硫化イブシ仕上げ』も頑張ってお以上に切磋してものにしてほしいと思います。

第3ブース班のYM君は、現在工作機械の制御盤塗装や架台フレーム、はたまた電車車両等の塗装に頑張ってくれています。持ち前の技術に関する探究心と職人魂でどうしたらきれいに早く仕上がるのかを日々日々考えて行動実践してくれている姿にうれしく思います。『上には上がいる。だから決して偉そうにならず謙虚に研鑽を積む』という事を大切にしているYM君にとって、今後も今までどおり人に対して思いやる気持ちを大切にして、そして生まれるお子さんのためにも誇りの持てる父親になってもらいたく思います。

第3ブース班のNO君は、入社当時この仕事をしたいという気持ちで入社されたのではないと思いますが、会社の雰囲気や仲間との関係により会社にはなじんだのではないかと思います。また仕事に関しては、熱心に頑張っている姿は感じますが、これからはこの仕事を好きになる領域に早くなってほしいと思います。まじめさや一生懸命さを大切にして是非、縁あったこの仕事を好きになってほしいと思います。そうすると今以上に色々なものを感じ取り組んでいきたくなること請け合いです。今後、後輩が入社した時に、先輩先輩と慕ってもらえ自分が教えてもらったことを下に伝えられる人間になって頑張るってほしいと思います。

そして、一番大切なことは、後輩がこのように頑張ってくれている裏には、そういう姿をみせて頑張っている先輩や上司がいるということをお忘れのないようにと思います。若手の努力もあるでしょうが、そのような文化や慣習が当社にあるということだと思っております。社会に喜ばれるような人間の集団でありたいと心より思います。私自身は東京地区での仕事を受注することと工場の皆が技術や生産性の向上に寄与できるよう取り組んでいきたく存じます。また来年は当社創立30周年です。これに向けて様々な取り組みを行っていきたく存じますので皆様のご協力をお願いします。